JP62161294

Publication Title:

STEREOSCOPIC TV ADAPTER

Abstract:

Abstract of JP62161294

PURPOSE: To make stereoscopic images from ordinary TV signals by switching a switching means synchronously with signals obtained by frequency dividing vertical synchronizing signals and controlling voltage application to a liquid crystal panel. CONSTITUTION: Video signals from which synchronizing signals are removed in a synchronizing signal removing circuit 6 are delayed for a fixed time by a delay circuit 7 and switched alternately with undelayed video signals by a switching circuit 8. A signal obtained by 1/2 frequency dividing a vertical synchronizing signal V is used as a switching control signal, and the switching circuit 8 is switched at every field. The signals are composed with synchronizing signals by a synthesizing circuit 9 and inputted to a TV receiving set 4. On the other hand, voltage application to a liquid crystal panel 2 is controlled by the output of a frequency dividing circuit 11. When TN liquid crystal is used, the plane of polarization of incident light is deviated by 90 deg. by optical activity when voltage is not applied. When the plane of polarization of lenses of polarization glasses is deviated by 90 deg. between the left eye and right eye, the rays of light to the left eye and right eye are switched alternately by applica tion of voltage to the liquid crystal panel. Thereby, stereoscopic image can be obtained from ordinary TV images.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of http://v3.espacenet.com

□ 日本国特許庁(JP)

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62-161294

⑤Int Cl 4

識別記号

庁内整理番号

43公開 昭和62年(1987)7月17日

H 04 N 13/04

6668-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

立体TVアタプター 30発明の名称

> 願 昭61-3980 ②特

願 昭61(1986)1月11日 ②出

冗発 明 者 石田

東京都大田区大森西4丁目15番5号 パイオニア株式会社 弘二

大森工場内

パイオニア株式会社 ①出 願 人

東京都目黒区目黒1丁目4番1号

明 細

1. 発明の名称

立体TVアダプター

2. 特許請求の範囲

TV受像機の前面に設けられた偏光板及び液 晶パネルと、ビデオ信号より同期信号を分離す る同期分離手段と、ビデオ信号より同期信号を 取り除く同期除去手段と、ビデオ信号を遅延さ せる遅延手段と、前記遅延したビデオ信号と遅 延しないビデオ信号を切換えるスイッチ手段と、 前記回期分離手段により得られた垂直同期信号 を分周する分周手段と、前記スイッチ手段によ りスイッチングされた遅延及び遅延しないビデ オ信号と同期信号とを合成する信号合成手段と を備え、前記垂直同期信号を分周した信号に同 捌して前記スイッチ手段を切換えると共に、前 記液晶パネルへの電圧印加を制御することを特 徴とする立体TVアタプター。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は通常のTV受像機に付加すること により疑似的に立体画像が得られる立体 T V ア ダブターに関するものである。

〔従来技術及びその問題点〕

従来の立体テレビは、専用のTV受像機によ り構成され、その構成も複雑である。また、一 般のTV受像機には使用できないものもある。

〔 発明が解決しようとする問題点〕

本発明は上記従来の問題点に鑑み成されたも ので、通常のTV受像機の前面に偏光板と液晶 パネルを設け、ビデオ信号を遅延させた信号と 遅延させない信号を垂直同期信号を分周した信 号で切換え、さらに液晶パネルへの印加電圧を この分周信号で制御することによつて通常の T V信号を立体画像として見る装置を提供するも のである。

〔発明の実施例〕

オ 1 図に本発明による立体 T V アタブターの 実施例を示す。

TV受像機4の前面に偏光板3と液晶パネル2及びガラス板1が配置されている。一方、映像信号(ペースパンド)はA点から同期信号除去回路6及び同期分離回路10に入力される。同期信号除去回路6の出力には遅延回路7が接続され、スイッチ回路8の入力に遅延回路7の出力と同期信号除去回路6の出力がそれぞれ接続されている。

また、同期分離回路10の出力には分周回路 11が接続され、その出力はスイッチ回路8と 上記液晶パネル2に接続されている。さらに、 合成回路9に同期分離回路10とスイッチ回路 8の出力が接続され、その出力がTV受像機4 に入力される。そして、偏光メガネ5によつて 立体画像が再生する。

次に、この発明の動作について説明する。 左目と右目で見える位置が水平方向に少しず

圧を印加するとこの施光性は失なわれる。 才 1 図に示すように偏光板 3、液晶パネル 2、偏光メガネのレンズを左目と右目で偏光面を 9 0° ずらしておけば、液晶パネルへの電圧印加によつて、左目と右目への光は交互にスイッチングされる。

オ 2 図 の (a) は、液晶パネル に 電圧を印加しないときであり、右目に の み 画像 が 得られる。

オ2図(b)は、液晶パネルに電圧を印加した時であり、左目にのみ画像が得られる。

す3図には、1フイールドごとに遅延された 画像と遅延されない画像が液晶パネルによつて スイッチングされ、偏光メガネで左右に分離さ れる様子を示している。

尚、上記実施例では通常のTV画像を疑似的に立体化するアダブターについて述べたが、たとえば、放送局(あるいはビデオデイスク等の映像リース)他で1フイールドごとに左と右の画像が切り換えられて送られる場合には、オ1 図における避処回路をパスする手段を設けるか、 れていることを電気的に実現すれば良い。

一方、分周回路11の出力で液晶パネル2への間圧印加が制御されている。液晶としてTN液晶(ツイステンド・ネマチック)を用いた場合、電圧を印加しないときには施光性によつて入射光が90°偏波面がすれることになり、電

または、スイツチ回路 8 を下側にすることによって機能を停止させれば、同様に立体画像を再生することができる。

〔発明の効果〕

以上の様に本発明では、従来のTV受像機に付加するだけで通常のTV画像を立体化でき、さらには立体画像のリースの場合でも簡単なスイッチだけでこれに対応できる。また、メガネには偏光レンズが用いられているたけなので、軽量であり、コード等も不用となり快適に立体画像を楽しむことが可能である。

4. 図面の簡単な説明

1 … … ガラス板 2 … … 液晶パネル

3 ······ 偷光板 4 ····· T V 受 像 機

5 ……偏光メガネ

特開昭62-161294 (3)

6 … … 同期信号除去回路

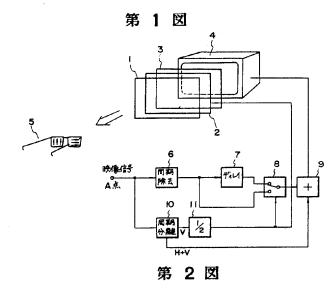
8 …… スイツチ回路

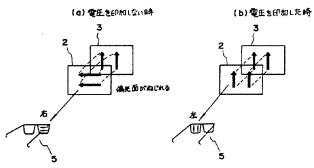
9 ……合成回路

10 ……同期分離回路

1 1 … … 分周回路

特許出願人 パイオニア株式会社





第 3 図

